

は、疑い症例を抽出することが比較的容易な環境にある。間質性肺炎を疑った場合、呼吸器科専門医と速やかに相談することが重要である。治療については、今のところ、生存を延長させるエビデンスのある方法はない。治療法の決定に際しては、治療反応性と副作用のリスクを考え、患者に対する十分な説明とインフォームド・コンセントの下で行うべきである。治療は、呼吸器専門医が、もしくは呼吸器専門医と十分相談の上で行うことが望ましい。特発性間質性肺炎は、国の特定疾患にも認定され、精力的に研究が進んでいるが、特発性肺線維症をはじめまだまだ生命予後を改善するに至っていない。今後は抗線維化に関連する分子機構をターゲットとした新規治療薬の開発が期待されている。

### 文 献

- 1) American Thoracic Society, European Respiratory Society. American Thoracic Society/European Respiratory Society International Multidisciplinary Consensus Classification of the Idiopathic Interstitial Pneumonias. Am J Respir Crit Care Med 165:277-304, 2002
- 2) 日本呼吸器学会びまん性肺疾患診断・治療ガイドライン作成委員会：特発性間質性肺炎 診断と治療の手引き. 改訂第2版：南江堂, 2011.
- 3) Takahashi H, Fujishima T, Koba H, et al. Serum surfactant proteins A and D as prognostic factors in idiopathic pulmonary fibrosis and their relationship to disease extent. Am J Respir Crit Care Med 62:1109-1114, 2000.
- 4) Yokoyama A, Kondo K, Nakajima M, et al. Prognostic value of circulating KL-6 in idiopathic pulmonary fibrosis. Respirology 11:164-168, 2006.
- 5) Selman M, King TE, Pardo A: Idiopathic pulmonary fibrosis: prevailing and evolving hypotheses about its pathogenesis and implications for therapy. Ann Intern Med 134: 136-151, 2001.
- 6) Richeldi L, Costabel U, Selman M, et al. Efficacy of a tyrosine kinase inhibitor in idiopathic pulmonary fibrosis. N Engl J Med 365: 1079-87, 2011.

## 電子メールによる会員への情報提供について

### — メールアドレスの登録 —

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様に送信提供しております。対象は当会の電子メールアドレス利用者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

#### ●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：[add@m.doui.jp](mailto:add@m.doui.jp)